

# たんぽぽ通信

Vol.52 2013年11月10日発行 たんぽぽ薬局要町2号店

## 感染性胃腸炎

11月頃から増えてくる疾患として感染性胃腸炎があります。

主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎を指し、昨今有名になったノロウイルスも原因の一つです。症状のある期間が比較的短く、特別な治療法がないことから、ウイルス検査を行わず、流行状況や症状から「感染性胃腸炎」と診断されることもあります。

ノロウイルスの場合は1~2日の潜伏期間の後、吐き気・嘔吐、下痢、腹痛、発熱が見られ、1~2日で症状が和らぎます。原因となるウイルスによっては1週間近く症状が続くことがあります。

## ノロウイルスの感染経路

一次感染としては、ノロウイルスを内臓に取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生または不十分な加熱処理で食べることで起こります。二次感染としては、感染した人が十分に手を洗わずに調理した食品を食べたり、感染した人の便や嘔吐物に触れたりして、ウイルスが口に入ることで起こります。



さらに便や嘔吐物が乾燥して、細かな塵と一緒に舞い上がり、その塵（ウイルス）を体内に取り込んだ場合でも胃腸炎が起こります。



薬局からのお話 第52話



## 感染性胃腸炎の治療と予防

基本的には水分を補給して休むといった対症療法を行います。嘔吐したものが肺に入り肺炎などを起こすこともあるので、絶食の指示が出ることもあります。脱水症状を起こさないうちに、乳幼児や高齢者は特に早めに医療機関に受診しましょう。感染性胃腸炎は、予防が大切です。最も大切なのは手を洗うことです。排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。便や嘔吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗うことが必要です。カキなどの二枚貝を調理するときは、表面だけでなく中心部まで十分に加熱できているか確認しましょう。



また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。便や嘔吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗うことが必要です。カキなどの二枚貝を調理するときは、表面だけでなく中心部まで十分に加熱できているか確認しましょう。

## 家庭でできるノロウイルス消毒

ノロウイルスには逆性石鹼（洗浄作用は弱いですが、強い殺菌力をもつ石鹼）やエタノール消毒では効果がありません。手近なものでは塩素系漂白剤を水で薄めて使います。皮膚に対して刺激作用があるので、ビニール手袋などを使用してください。トイレのドアノブや手すりには0.02%に調製したものを、嘔吐物や便には塩素濃度を0.1%に調製したものを使用します。銘柄によって濃度が異なるので注意が必要です。使用するには換気を十分に行ってください。消毒液で拭き取り、10分後には水拭きしてください。消毒液は作り置きせずその都度使い切ってください。手指・皮膚の消毒には使えません。



## たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトゥエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

